

●令和7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定

課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数	単位の	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）
③学校と家庭の課題	家庭等における学習習慣の定着	学校の授業以外の学習不足	放課後子ども教室において、体験活動前に宿題や自主学習の時間を取り、学習の習慣化を図る。	従来、活動の最初に宿題を行うことが慣例だったが、児童がより集中できるよう、各教室の状況に合わせ柔軟に学習順序を組み替えられるようにした。	・宿題などの学習の習慣付け	放課後子ども教室登録人数	73	人	80	73	02 本 各教室では宿題の時間を取っており、放課後子ども教室に参加することで学習の習慣化も期待される。今年度においては参加児童が定員を下回ったため、効果的な募集方法等についてスタッフや学校と相談していきたい。
③学校と家庭の課題	放課後等における多様な体験活動	ゲームやスマートフォンなどを使用した遊びが増え、季節の行事に関する遊びや工作等の体験活動が不足している。	放課後子ども教室プログラム内に季節に合わせた行事を取り入れた体験活動を入れる。	参加児童の意見などに応じて年度当初に計画した後で予定を変更できるようにした。	・体験した活動を学校や家庭に持ち帰り、周囲の人に共有する。 ・児童の体験活動の幅を広げ、興味・関心の機会を増やす。	季節の行事に関するプログラムの実施数	0	件	8	5	02 本 毎年参加している児童がいることなどを踏まえ、「ハロウィン」「クリスマス」などの定番イベントに合わせた活動以外にも、様々な工作や昔遊びなどの工夫を凝らした体験を行う傾向が見られた。